

嘉手納基地へのC V-2 2 オスプレイ配備に断固反対する抗議決議

平成25年8月15日付の新聞報道で、空軍嘉手納基地にC V-2 2 オスプレイ計9機を順次配備する計画で、2014年7月から9月までに3機程度を配備する可能性が高いことが明らかになった。

今年1月にも、C V-2 2 オスプレイの嘉手納基地への配備計画が報道されたことに対し、北谷町議会は配備計画の断念を強く要求し、三連協による「C V-2 2 オスプレイの嘉手納基地配備に反対する三連協住民大会」が開催され、嘉手納飛行場周辺住民を挙げて反対運動を展開してきた。日本政府は、幾度となく繰り返される配備計画への抗議要請に対し、「詳細は把握していない」を繰り返しながら、実際の現状は配備計画が進んでいく状況である。沖縄県民の総意よりも米政府の意向を最優先するもので、民主主義を根底から踏みにじる暴挙である。沖縄県民を愚弄するもので断じて許せるものではない。

今回の報道は、日常的に基地から派生する諸問題に悩まされてきた町民の、オスプレイ配備断固反対の強い意思を踏みにじるものであり強い憤りを覚える。また、昨年10月に普天間飛行場へ配備後、日米合意事項さえことごとく破り、人口密集地域や学校上空通過、夜間飛行など住民無視の訓練が繰り返されている。

嘉手納基地へのC V-2 2 オスプレイ配備計画は、嘉手納基地の持つ危険性と騒音問題をさらに増幅させるものであり、断じて容認できるものではない。

今回の配備計画で、本町上空に危険極まりないC V-2 2 オスプレイが飛行すれば、現状にも増して町民に騒音被害、墜落の危険と恐怖を押し付けるものである。

よって、北谷町議会は、町民の生命・財産、安全を守る立場から、嘉手納基地へのC V-2 2 オスプレイの配備計画に断固反対するとともに、下記事項について強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地へのC V-2 2 オスプレイ配備計画を断念すること。
- 2 普天間飛行場のMV-2 2 オスプレイを即時撤去すること。

以上、決議する。

平成25年9月10日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 在沖海兵隊基地司令官

嘉手納基地へのC V-2 2 オスプレイ配備に断固反対する意見書

平成25年8月15日付の新聞報道で、空軍嘉手納基地にC V-2 2 オスプレイ計9機を順次配備する計画で、2014年7月から9月までに3機程度を配備する可能性が高いことが明らかになった。

今年1月にも、C V-2 2 オスプレイの嘉手納基地への配備計画が報道されたことに対し、北谷町議会は配備計画の断念を強く要求し、三連協による「C V-2 2 オスプレイの嘉手納基地配備に反対する三連協住民大会」が開催され、嘉手納飛行場周辺住民を挙げて反対運動を展開してきた。日本政府は、幾度となく繰り返される配備計画への抗議要請に対し、「詳細は把握していない」を繰り返しながら、実際の現状は配備計画が進んでいく状況である。沖縄県民の総意よりも米政府の意向を最優先するもので、民主主義を根底から踏みにじる暴挙である。沖縄県民を愚弄するもので断じて許せるものではない。

今回の報道は、日常的に基地から派生する諸問題に悩まされてきた町民の、オスプレイ配備断固反対の強い意思を踏みにじるものであり強い憤りを覚える。また、昨年10月に普天間飛行場へ配備後、日米合意事項さえことごとく破り、人口密集地域や学校上空通過、夜間飛行など住民無視の訓練が繰り返されている。

嘉手納基地へのC V-2 2 オスプレイ配備計画は、嘉手納基地の持つ危険性と騒音問題をさらに増幅させるものであり、断じて容認できるものではない。

今回の配備計画で、本町上空に危険極まりないC V-2 2 オスプレイが飛行すれば、現状にも増して町民に騒音被害、墜落の危険と恐怖を押し付けるものである。

よって、北谷町議会は、町民の生命・財産、安全を守る立場から、嘉手納基地へのC V-2 2 オスプレイの配備計画に断固反対するとともに、下記事項について強く要請する。

記

- 1 嘉手納基地へのC V-2 2 オスプレイ配備計画を断念させること。
- 2 普天間飛行場のMV-2 2 オスプレイを即時撤去させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月10日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長